

パーソナルオーディオシステム

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。



警告

電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。**この取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。**お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。



安全のために

ソニー製品は安全に充分配慮して設計されています。しかし、電気製品は間違った使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故につながる可能性があります。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。



安全のための注意事項を守る

以下の注意事項をよくお読みください。

定期的に点検する

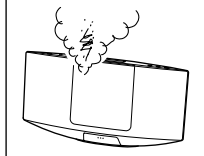
設置時や1年に1度は、ACアダプターに傷みがないか、コンセントとACアダプタープラグの間にほこりがたまっていないか、ACアダプターがしっかり差し込まれているか、などを点検してください。

故障したら使わない

動作がおかしくなったり、キャビネットやACアダプターなどが破損しているのに気づいたら、すぐにお買い上げ店またはソニーの相談窓口にて修理をご依頼ください。

万一、異常が起きたら

変な音・においがしたら、煙が出たら



- ① 電源を切る。
- ② ACアダプターをコンセントから抜く。
- ③ お買い上げ店またはソニーの相談窓口にて修理を依頼する。

警告表示の意味

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。



危険
この表示の注意事項を守らないと、火災・感電・破裂などにより死亡や大けがなどの人身事故が生じます。



警告
この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなどの人身事故につながる可能性があります。



注意
この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の物品に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号




行為を禁止する記号



行為を指示する記号



目次

 警告 安全のために.....	2
各部の名前と働き.....	12
本機の楽しみかた.....	16

準備

接続する	17
リモコンに電池を入れる	18
iPod/iPhoneを本機に接続する.....	19
時計を合わせる.....	20
オートスタンバイ機能について	20

CDを聞く

CD/MP3ディスクを再生する	22
好きな順に曲を聞く(プログラム再生)	25

iPod/iPhoneの曲を聞く

iPod/iPhoneの曲を再生する	27
対応iPod/iPhoneモデル.....	27
iPod/iPhoneを充電する.....	29

その他の操作と設定

ラジオを聞く.....	30
ラジオ局を受信する	30
ラジオ局を登録する	31
外部機器を接続して聞く	31
音質を調整する.....	32
表示窓の表示を切り換える	32
タイマーを使う.....	33

スリープタイマーを設定する.....	34
再生タイマーを設定する.....	34

使用上のご注意・主な仕様

使用上のご注意.....	36
故障かな?と思ったら.....	38
メッセージ一覧.....	41
保証書とアフターサービス.....	42
主な仕様.....	43



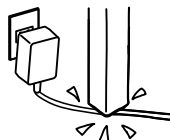
下記の注意事項を守らないと**火災・感電**により**死亡**や**大けが**の原因となります。

ACアダプターを傷つけない

ACアダプターを傷つけると、火災や感電の原因となります。

- 設置時に、製品と壁や棚との間にはさみ込みだりしない。
- ACアダプターを加工したり、傷つけたりしない。
- 重いものをのせたり、引っ張ったりしない。
- 熱器具に近づけない。加熱しない。
- 移動させるときは、ACアダプターを抜く。
- ACアダプターを抜くときは、必ずACアダプターを持って抜く。

万一、ACアダプターが傷んだら、お買い上げ店またはソニーの相談窓口へ交換をご依頼ください。



禁止

湿気やほこり、油煙、湯気の多い場所や水のかかる場所、直射日光のあたる場所には置かない

上記のような場所に置くと、火災や感電の原因となることがあります。特に風呂場などでは絶対に使用しないでください。

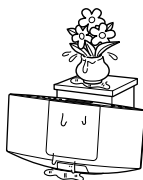


禁止

内部に水や異物が入らないようにする

水や異物が入ると火災や感電の原因となります。本機の上に花瓶など水の入ったものを置かないでください。

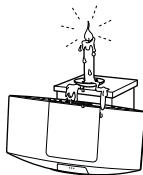
万一、水や異物が入ったときは、すぐに本体の電源スイッチを切り、ACアダプターをコンセントから抜き、お買い上げ店またはソニーの相談窓口にご相談ください。



禁止

本機の上にローソクを置かない

本機の上に、例えば火のついたローソクのような、火災源を置かないでください。火災の原因となります。



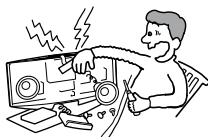
禁止



下記の注意事項を守らないと**火災・感電**により**死亡や大けが**の原因となります。

キャビネットを開けたり、 分解や改造をしない

火災や感電、けがの原因となることがあります。
内部の点検や修理はお買い上げ店またはソ
ニーの相談窓口にご依頼ください。



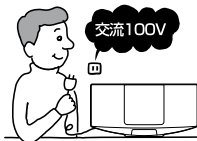
雷が鳴りだしたら、アンテナ線や ACアダプターに触れない

本機やアンテナ線、ACアダプターなどに触れ
ると感電の原因となります。



本機を日本国外で使わない

交流100Vの電源でお使いください。海外など、
異なる電源電圧の地域で使用すると、火災・感
電の原因となります。



可燃ガスエアゾールやスプレーを 使用しない

清掃用や潤滑用などの可燃性ガスを本機に使
用すると、モーターやスイッチの接点、静電気
などの火花、高温部品が原因で引火し、爆発や
火災が発生するおそれがあります。



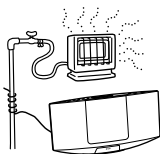
付属のACアダプターについて

付属のACアダプターは本機専用です。他の電
気機器では使用できません。また、他の電気機
器のACアダプターも使用できません。



ガス管にアンテナ線をつながない

火災や爆発の原因となります。





下記の注意事項を守らないと**けが**をしたり周辺の**家財に損害**を与えたりすることがあります。

ぬれた手でACアダプターにさわらない

感電の原因となることがあります。



ぬれ手禁止

風通しの悪い所に置かない

本機およびACアダプターに新聞紙、テーブルクロス、カーテン、布などをかけたり、毛足の長いじゅうたんや布団の上または壁や家具に密接して置いて、自然放熱の妨げになるようなことはしないでください。また、本箱や組み込み式キャビネットのような通気が妨げられる狭いところに設置しないでください。過熱して火災や感電の原因となることがあります。



禁止

幼児の手の届かない場所に置く

ディスクの挿入口などに手をはさまれ、けがの原因となることがあります。お子さまがさわらぬようにご注意ください。



指のケガに注意

大音量で長時間つづけて聞かない

耳を刺激するような大きな音量で長時間つづけて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。特にヘッドホンで聞くとときにご注意ください。

呼びかけられたら気がつくくらいの音量で聞きましょう。



禁止

はじめからボリュームを上げすぎない

突然大きな音が出て耳をいためることがあります。ボリュームは徐々に上げましょう。特に、雑音の少ないデジタル機器をヘッドホンで聞くとときにはご注意ください。



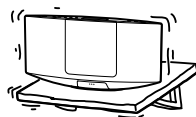
禁止



下記の注意事項を守らないと**けが**をしたり周辺の**家財に損害**を与えたりすることがあります。

安定した場所に置く

ぐらついた台の上や傾いたところなどに置くと、製品が落ちてけがの原因となることがあります。また、置き場所の強度も十分に確認してください。



禁止

ACアダプターは抜き差ししやすいコンセントに接続する

異常が起きた場合にACアダプターをコンセントから抜いて、完全に電源が切れるように、ACアダプターは容易に手の届くコンセントにつないでください。

通常、本機の電源スイッチを切っただけでは、完全に電源から切り離されません。



指示

コード類は正しく配置する

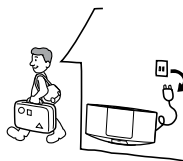
本機に取り付けるACアダプターやAVケーブルは、足にひっかけると機器の落下や転倒などにより、けがの原因となることがあります。十分に注意して接続、配置してください。



禁止

長期間使わないときは、ACアダプターを抜く

長期間使用しないときは安全のためACアダプターをコンセントから抜いてください。絶縁劣化、漏電などにより火災の原因となることがあります。



プラグをコンセントから抜く

お手入れの際、ACアダプターを抜く

ACアダプターを差し込んだままお手入れをすると、感電の原因となることがあります。



プラグをコンセントから抜く

電池についての
安全上のご注意

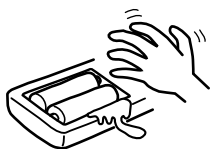
液漏れ・破裂・発熱・発火・誤飲による
大けがや失明を避けるため、下記の注意事項を必ず
お守りください。

 危険

電池の液が漏れたときは

素手で液をさわらない

電池の液が目に入ったり、身体や衣服につくと、失明やけが、皮膚の炎症の原因となることがあります。液の化学変化により、数時間たつてから症状が現れることもあります。



接触禁止

必ず次の処理をする

- 液が目に入ったときは、目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で充分洗い、ただちに医師の治療を受けてください。
- 液が身体や衣服についたときは、すぐにきれいな水で充分洗い流してください。皮膚の炎症やけがの症状があるときは、医師に相談してください。



指示

警告

電池は乳幼児の手の届かない所に置く

電池は飲み込むと、窒息や胃などへの障害の原因となることがあります。

万一、飲み込んだときは、ただちに医師に相談してください。



禁止

電池を火の中に入れてない、加熱・分解・改造・充電しない、水で濡らさない

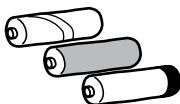
破裂したり、液が漏れたりして、けがややけどの原因となることがあります。



禁止

指定以外の電池を使わない、新しい電池と使用した電池または種類の違う電池を混ぜて使わない

電池の性能の違いにより、破裂したり、液が漏れたりして、けがややけどの原因となることがあります。

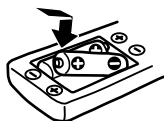


禁止

＋と－の向きを正しく入れる

＋と－を逆にすると、ショートして電池が発熱や破裂をしたり、液が漏れたりして、けがややけどの原因となることがあります。

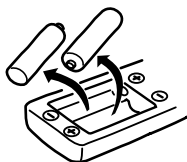
機器の表示に合わせて、正しく入れてください。



指示

使い切ったときや、長時間使用しないときは、電池を取り出す

電池を入れたままにしておくと、過放電により液が漏れ、けがややけどの原因となることがあります。



指示

ステレオを聞くときのエチケット



ステレオで音楽をお楽しみになるときは、隣近所に迷惑がかからないような音量でお聞きください。特に、夜は小さな音でも周囲にはよく通るものです。

窓を閉めたり、ヘッドホンをご使用になるなどお互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

このマークは音のエチケットのシンボルマークです。

正常な使用状態で本製品に故障が生じた場合、当社は本製品の保証書に定められた条件にしたがって修理を致します。ただし、本製品の故障、誤動作または不具合により、録音、再生などにおいて利用の機会を逸したために発生した損害等の付随的損害の補償については、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

CD再生時のご注意

本製品は、コンパクトディスク(CD)規格に準拠した音楽ディスクの再生を前提として、設計されています。最近、いくつかのレコード会社より著作権保護を目的とした技術が搭載された音楽ディスクが販売されていますが、これらの中にはCD規格に準拠していないものもあり、本製品で再生できない場合があります。

DualDiscについてのご注意

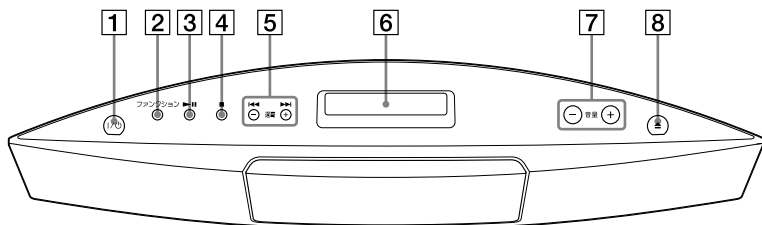
DualDiscとはDVD規格に準拠した面と、音楽専用面とを組み合わせた新しい両面ディスクです。なお、この音楽専用面はコンパクトディスク(CD)規格には準拠していないため、本製品での再生は保証いたしません。

商標について

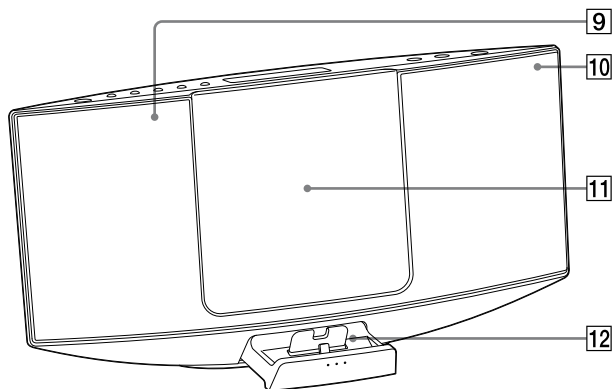
- iPod、iPod nano、iPod touchは、米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。Lightning は、Apple Inc.の商標です。
- 本機はFraunhofer IISおよびThomsonのMPEG Layer-3オーディオコーディング技術と特許に基づく許諾製品です。

各部の名前と働き

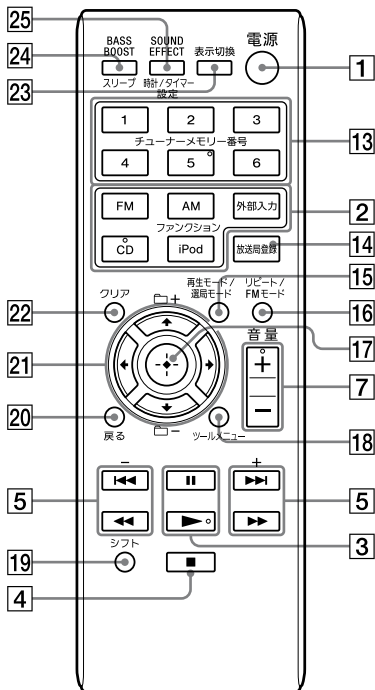
本体(上面)



本体(前面)



リモコン



- 本書では、リモコンのボタンを使った操作説明を主体にしています。リモコンと同じ名前のも体のボタンは、同じ働きをします。
- リモコンの24、25ボタンには2つの機能が割り当てられています。ピンク色で表示されている「スリープ」、「時計/タイマー設定」機能を有効にしたい場合は、シフトボタン19を押しながら押してください。シフトボタン19を押さずに24、25ボタンを押すと、BASS BOOST、SOUND EFFECTが有効になります。

1 I/O (電源)ボタン

本機の電源を入/切します。

2 ファンクションボタン

本体：ファンクションボタン

ボタンを押すたびにCD→iPod→TUNER FM→TUNER AM→AUDIO INの順にファンクションが切り換わります。

リモコン：FM、AM、外部入力、CD、iPodボタン

切り換えたいファンクションのボタンを押します。

3 再生/一時停止ボタン

本体：▶▶ ボタン

リモコン：▶▶、|| ボタン

CDやMP3ディスク、iPod/iPhone接続した曲を再生/一時停止します。

4 ■ (停止)ボタン

CDやMP3ディスク、iPod/iPhone接続した曲を停止します。

5 ラジオ選局/曲操作ボタン

本体：選局+/-、◀◀/▶▶ ボタン

● 選局+/-ボタン

聞きたいラジオ局の周波数や、登録したラジオ局のプリセット番号を選びます。

● ◀◀/▶▶ ボタン

曲の頭出しをします。押している間、曲の早戻しや早送りをします。

リモコン：+/-、◀◀/▶▶、◀◀/▶▶ ボタン

● +/-ボタン

聞きたいラジオ局の周波数や、登録したラジオ局のプリセット番号を選びます。

● ◀◀/▶▶ ボタン

曲の頭だしをします。

● ◀◀/▶▶ ボタン

曲の早戻しや早送りをします。

6 表示窓

本機の設定状態などを表示します。

7 音量+/-ボタン

音量を調節します。

8 ▲ (オープン/クローズ)ボタン

CD、MP3ディスクを取り出します(22、23ページ)。

9 リモコン受光部

10 リモコンランプ

リモコンからの信号を受信したときに点灯します。

11 CDスライドドア

CD、MP3ディスクをセットします(22、23ページ)。

12 iPodコネクター

iPod/iPhoneを接続します(19、27、28、29ページ)。

13 チューナーメモリー番号ボタン

本機に登録したプリセット番号1から6のラジオ局を呼び出します(31ページ)。

14 放送局登録ボタン

ラジオ局をプリセット登録します(31ページ)。

15 再生モード/選局モードボタン

- 再生モードボタン
CD、MP3ディスクの再生モードを選択します(23、25、26ページ)。iPodファンクションでは、シャッフルモードを「オン」または「オフ」に設定します(28ページ)。
- 選局モードボタン
ラジオ局の選局モードを切り換えます。ボタンを押すたびに「AUTO」→「PRESET」→「MANUAL」の順に切り換わります(30、31ページ)。

16 リピート/FMモードボタン

- リピートボタン
曲を繰り返し聞くとときに使います(23、28ページ)。

FMモードボタン

FM放送のステレオ受信、モノラル受信を切り換えます(30ページ)。

17 ⊕ (決定)ボタン

操作や設定を確定します。

18 ツールメニューボタン

本機がiPodファンクションのときに押すと、iPod/iPhoneのメニューボタンと同じ動作をします。

19 シフトボタン

リモコン上に、ピンク色で表示されているボタン名の機能を有効にします。シフトボタン¹⁹を押しながらピンク色で表示されているボタンを押すと、ピンク色の機能が有効になります。

20 戻るボタン

操作前の状態に戻します。
本機がiPodファンクションのときは、iPod/iPhoneのメニューボタンと同じ動作をします(28ページ)。

21 操作ボタン

- ↑/↓/←/→ボタン
項目や曲を選択したり、設定を変更します。
←/→ボタンを押し続け、CD、MP3ディスクの曲を早送り/巻戻しします(23ページ)。
本機がiPodファンクションのときは、iPod/iPhoneメニューボタンと同じ動きをします。
↑/↓ボタンで上下にスクロールし、→ボタンで項目や再生する曲を選びます。
←ボタンでリスト画面の前の画面に戻ります(28ページ)。
- 📁 +/-ボタン
MP3ディスクのフォルダ(アルバム)を選択します。

22 クリアボタン

プログラムした曲をプログラムから消します(26ページ)。

23 表示切換ボタン

表示窓に表示される内容を切り換えます(20、32ページ)。

24 BASS BOOST /スリープボタン

- BASS BOOST (バスブースト)ボタン
バスブースト(低音増強)を「オン」または「オフ」に設定します(32ページ)。
- スリープボタン
スリープタイマーを設定します。
シフトボタン¹⁹を押しながらスリープボタン²⁴を押してください(13、34ページ)。

25 SOUND EFFECT /時計/タイマー設定ボタン

- SOUND EFFECT (サウンドエフェクト)ボタン
ボタンを繰り返し押し、お好みのサウンド効果を設定します(32ページ)。
- 時計/タイマー設定ボタン
時計や再生タイマーを設定します。
シフトボタン¹⁹を押しながら時計/タイマー設定ボタン²⁵を押してください(13、20、34、35ページ)。

本機の楽しみかた

聞く

いろいろな音源から音楽を聞く

22ページ



音楽CD



外部機器

31ページ

30ページ



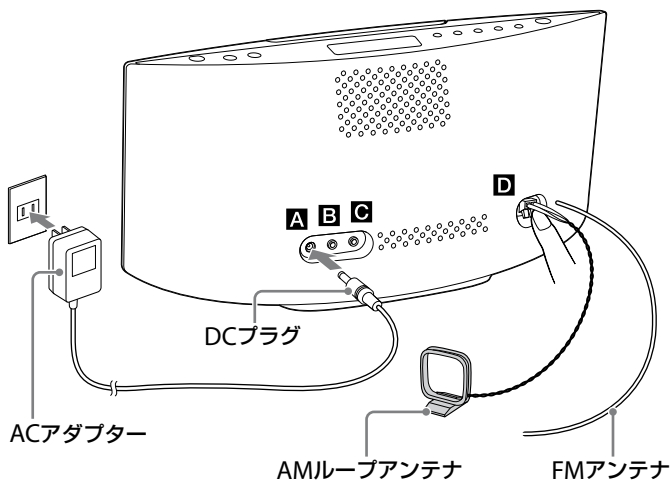
FM/AM



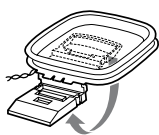
iPod/iPhone

27ページ

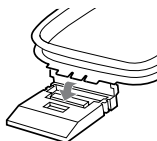
接続する



AMループアンテナをセットするには



アンテナに巻かれて
いるアンテナコード
をほどき、台を起こす



アンテナを起こして
カチッと音がするま
で溝に確実にはめる

A DC入力 9.5 V (電源)

すべての機器を接続したあと、図のようにコンセントにつないでください。

B AUDIO IN (外部入力)端子

別売りのオーディオケーブルを使って外部入力機器を接続します。

C (ヘッドホン)端子

ヘッドホンを接続します。

D アンテナ(FM/AM)

アンテナを接続しないとラジオ放送を受信できません。

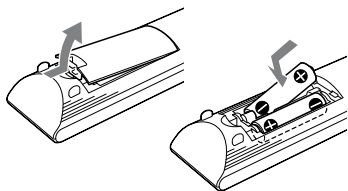
受信状態の良い場所や方向を探して設置してください。

雑音の原因になるため、AMループアンテナは本体や電源コードセット、他のAV機器から離してください。


FMアンテナは、先端をテープなどで固定してください。

リモコンに電池を入れる

⊕と⊖の向きを合わせて、リモコンに単3形乾電池(R6、付属) 2個を入れます。イラストのように⊖極側から入れます。



ご注意

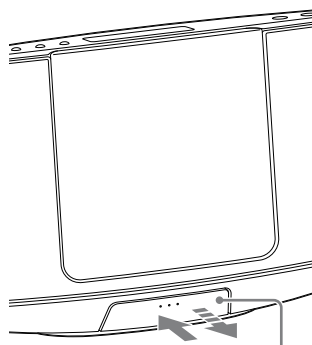
- 電池の使いかたを誤ると、液漏れや破裂のおそれがあります。次のことを必ず守ってください。
 - ⊕と⊖の向きを正しく入れてください。
 - 新しい電池と使った電池、または種類の違う電池を混ぜて使わないでください。
 - 電池は充電しないでください。
 - 長い間リモコンを使わないときは、電池を取り出してください。
 - 液漏れたときは、電池入れについた液をよく拭き取ってから新しい電池を入れてください。
- リモコンを使うときは、リモコン受光部  に直射日光や照明器具などの強い光が当たらないようにしてください。リモコンで操作できないことがあります。
- 電池の交換時期は約6か月です。リモコンを本体に近づけないと操作しづらくなったら、2個とも新しい電池に交換してください。

iPod/iPhoneを本機に接続する

本機でiPod/iPhoneを楽しむときは、iPodドックを開き、iPodコネクター¹²にiPod/iPhoneを接続します。本機はアタッチメントの取り付けは必要ありません。iPodコネクター¹²にiPod/iPhoneを直接接続してください。

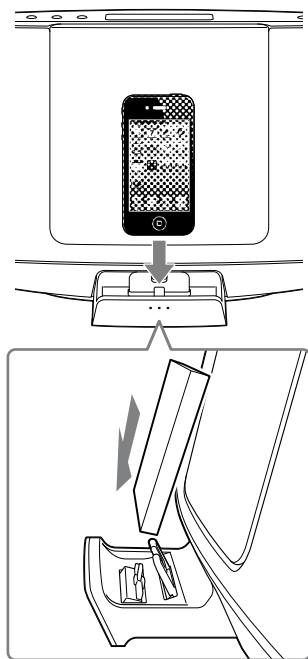
本機が対応するiPod/iPhoneについては、「対応iPod/iPhoneモデル」(27ページ)をご覧ください。

- 1 iPodドックの中央部を押して、iPodドックを開く。



iPodドック

- 2 iPodコネクター¹²にiPod/iPhoneを接続する。

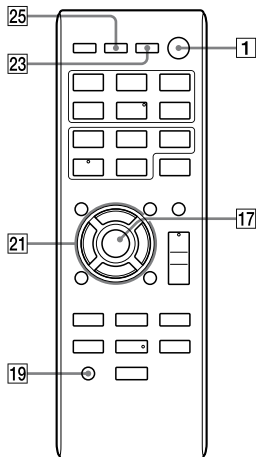


ご注意

iPod/iPhoneをはさず際に、本機が転倒しないようご注意ください。

時計を合わせる

リモコンのボタンを使って時計を合わせます。



- 1 I/⏻ (電源) ボタン **1** を押して、電源を入れる。
- 2 シフトボタン **19** を押しながら、時計/タイマー設定ボタン **25** を押す。
「PLAY SET」が点滅するときは、**▲/▼** ボタン **21** を繰り返し押しして「CLOCK」を選び、**+** ボタン **17** を押しください。
- 3 **▲/▼** ボタン **21** を繰り返し押しして「時」を合わせ、**+** ボタン **17** を押す。
- 4 「時」と同じ手順で「分」を合わせ、**+** ボタン **17** を押す。

ご注意

停電になったり、ACアダプターが抜け電源供給がなくなると、時計設定は解除されます。

電源が切れているときに時計を確認するには

表示切換ボタン **23** を繰り返し押しして、時計を表示させます。時計は約8秒間表示されます。

オートスタンバイ機能について

本機にはオートスタンバイ機能がついています。このオートスタンバイ機能によって、無操作または無音の状態が30分経過すると本機は自動的にスタンバイモードに移行します。スタンバイモードに移行するときは、移行する2分前に「AUTO. STBY」が表示されます。

お買い上げ時の初期設定では有効になっていますが、本体のボタンを使ってオートスタンバイ機能を切ることができます。

- 1 本機の電源が入っているときに、「AUTO. STBY OFF」が表示されるまで本体のI/⏻ ボタン **1** を押し続ける。

- オートスタンバイ機能を「オン」にするには、「AUTO. STBY ON」が表示されるまで本体のI/⏻ ボタン **1** を押し続けてください。

ご注意

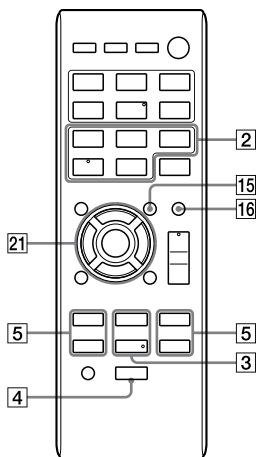
- オートスタンバイ機能を有効にしても、

FM、AMファンクションをお使いのときは無効となり、スタンバイモードへ移行しません。

- オートスタンバイ機能を有効にしても、次の状態のときにはスタンバイモードへ移行しません。
 - － 音声信号を検出したとき。
 - － 曲を再生しているとき。
 - － 再生タイマーまたはスリープタイマー開始のための処理が始まったとき。
- オートスタンバイ機能を有効にした状態で次の操作を行うと、オートスタンバイモードへ移行するまでの時間(30分)をリセットして再カウントします。
 - － iPod/iPhoneを接続したとき。
 - － 本体またはリモコンの操作ボタンを押したとき。
 - － 再生タイマーまたはスリープタイマーが開始したとき。

CDを聞く

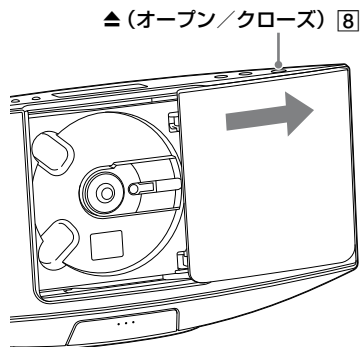
CD/MP3ディスクを再生する



1 CDファンクションボタン²を押す。

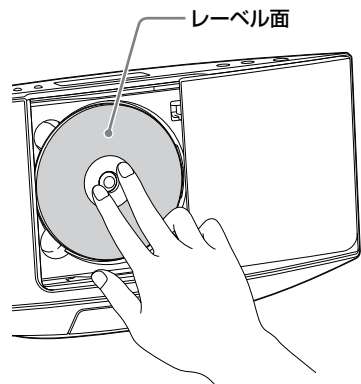
- 本体では、ファンクションボタン²を繰り返し押し続けて表示窓に「CD」を表示させます。

2 本体の△ (オープン/クローズ) ボタン⁸を押してCDスライドドアを開く。



3 レーベル面を手前にして、ディスクをセットする。

- ディスクの中心付近をディスクが固定されるまで手で押さえながらセットします。



4 本体の△ (オープン/クローズ) ボタン⁸を押してCDスライドドアを閉じる。

- 表示窓に「READING」が点滅します。

5 ▶ ボタン³を押す。

- 本体では、▶|| ボタン³を押します。



ディスクを取り出すには

ディスクの再生が停止している状態で、本体の▲（オープン/クローズ）ボタン[8]を押してCDスライドドアを開きます。
ディスクの中心付近を押さえないが、ディスクの端からゆっくりと取り出します。

ご注意

- CDスライドドアが開いた状態で一定時間が経過すると、本機は自動的にCDスライドドアを閉じます。
- 特殊な形状（ハート型、カード型、星型など）のディスクを挿入しないでください。内部でディスクが落ち込み、修復不能な損傷を本機に与えるおそれがあります。
- CDスライドドアが開いた状態でI/Oボタン[1]を押すと、本機は自動的にCDスライドドアを閉じます。
- テープやシールの貼られたディスク、接着剤ののりが付着したディスクなどは、故障するおそれがあるため、本機では使わないでください。
- ディスクを取り出すときは、記録面に触れないようご注意ください。

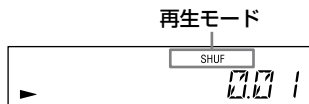
その他の操作

こんなときは	操作
一時停止する	■ボタン[3]（本体では▶■ボタン[3]）を押す。もう一度押すと再生を再開します。
再生を止める	■ボタン[4]を押す。
曲を選ぶ	◀◀/▶▶ボタン[5]または◀/▶ボタン[21]を押す。
曲中の聞きたい部分を探す	再生中に◀◀/▶▶ボタン[5]（本体では◀◀/▶▶ボタン[5]）、または◀/▶ボタン[21]を押し続け、聞きたいところで指を離す。
曲を繰り返し聞く	リピートボタン[16]を繰り返し押して、「◀◀」（全曲リピート再生）または「▶▶」（1曲リピート再生）を点灯させる。
MP3ディスク内のフォルダを選ぶ	◻ +/- ボタン[21]を繰り返し押す。
ディスクを取り出す	本体の▲ボタン[8]を押す。

再生モードを変えるには

ディスクの停止中に再生モードボタン[15]を繰り返し押して、再生モードを切り換えます。再生モードは、以下のとおり切り換わります。

ノーマル再生（「なし」または「FLDR」点灯*）→シャッフル再生（「SHUF」または「FLDR SHUF」点灯*）→プログラム再生（「PGM」点灯）



* 「FLDR」または「FLDR SHUF」を選択しているときは、MP3ディスク内の選択したフォルダ(アルバム)を再生対象にします。このとき、フォルダ内の全曲が再生されます。

CD (CD-DAディスク)が再生対象のときは、ノーマル再生「なし」またはシャッフル再生「SHUF」と同じ動作となります。

「PUSH STOP」が表示されたときは

再生中は再生モードの変更はできません。停止してから再生モードを変更してください。

リピート再生についてのご注意

- 「」は、再生を停止するまで全曲を繰り返し再生します。
- 「」は、再生を停止するまで再生中の1曲だけを繰り返し再生します。

シャッフル再生についてのご注意

- 「SHUF」は、ディスク内の全ての曲をシャッフル再生します。「FLDR SHUF」は、選択しているフォルダ内の曲をシャッフル再生します。
- 本機の電源を切ると、選択していたシャッフル再生モード(「SHUF」または「FLDR SHUF」)はリセットされ、ノーマル再生(「なし」または「FLDR」)モードとなります。

MP3ディスクについてのご注意

- MP3ディスク作成の際には、不要なフォルダやファイルをMP3ファイルといっしょに記録しないでください。
- フォルダ内にMP3ファイルが存在しない場合は、このフォルダは表示されません。
- ファイル名に「.mp3」の拡張子を持つオーディオファイルのみが再生対象となります。

- ファイル名に「.mp3」の拡張子を持っていても、MP3形式のオーディオファイルでない場合には再生されません。このようなファイルの再生は、大音量のノイズとなり、本機の故障の原因となることがあります。

- MP3ディスクに対する本機の上限は次のとおりです。

- 最大フォルダ数：255* (ルートフォルダ含む)
- 最大ファイル数：512
- 1つのフォルダ内で認識可能な最大ファイル数：512
- 認識可能な最大階層(フォルダ)レベル：9

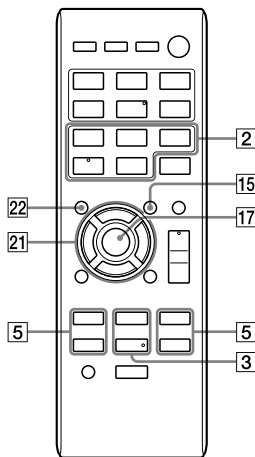
- 本機は、エンコードソフトウェアや書き込み用ソフトウェア、CD-R/RWドライブ、使用メディアなど、MP3ディスクの作成に必要な機器やソフトウェアのすべてを保証するものではありません。作成したMP3ディスクが本機での再生に適さない場合、ノイズが再生される、再生が途切れる、まったく再生されないなど、不具合が発生するおそれがあります。

* MP3ファイルが存在しないフォルダ、空フォルダも含まれます。フォルダ構成によっては本機で認識できるフォルダ数が少なくなる場合があります。

好きな順に 曲を聞く

(プログラム再生)

リモコンのボタンを使ってプログラム登録をします。



1 CDファンクションボタン²を押す。

- 本体では、ファンクションボタン²を繰り返し押し表示窓に「CD」を表示させます。

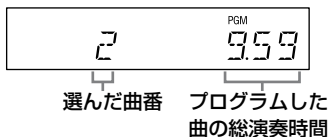
2 停止中に再生モードボタン¹⁵を繰り返し押しして「PGM」を点灯させ、プログラム再生モードを選ぶ。

3 フォルダを選ぶ(MP3ディスクのみ)。

- +/- ボタン²¹を繰り返し押しして、プログラムしたいフォルダを選びます。

4 曲を選ぶ。

- ボタン⁵を繰り返し押しして、プログラムしたい曲を選びます。



- 表示窓の右側に表示される総演奏時間には、現在選んだ曲の総演奏時間も含まれます。

5 ⊕ボタン¹⁷を押す。

選択した曲がプログラムに登録されます。

- プログラムした曲の総演奏時間が100分になった場合や、MP3ファイルプログラムした場合には「-- --」と表示されます。

6 手順3～5を繰り返してプログラムする。

- 最大25曲までプログラムできます。

「FULL」が表示されたときは


26曲目に登録しようとしています。「プログラムを消すには」(26ページ)をご覧ください、プログラムを消してから登録し直してください。

7 ▶ボタン³を押す。


プログラム再生が始まります。

- 本体では、▶▶ボタン³を押します。
- 登録したプログラムは、ディスクを取り出したり、ACアダプターを抜かない限り保持されます。
- プログラム再生後、同じプログラムを再生するには、▶▶ボタン³を押します。

プログラム再生を中止するには

停止中に、「PGM」が消えるまで再生モードボタンを繰り返し押します。

プログラムを消すには

停止中にクリアボタンを押します。ボタンを押すたびに、最後にプログラム登録した曲から消えます。登録していたプログラムをすべて消去すると、「NO STEP」が表示されます。

iPod/iPhoneの曲を聞く

iPod/iPhoneの曲を再生する

本機にiPod/iPhoneを接続して、iPod/iPhoneの音楽を再生することができます。曲の再生や停止など、本機のボタンを使ってiPod/iPhoneを操作することもできます。

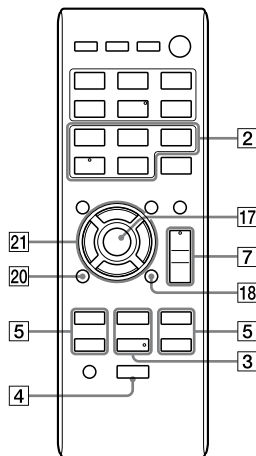
対応iPod/iPhoneモデル

本機で使用できるiPod/iPhoneは次のとおりです。

iPod touch (第5世代)
iPod nano (第7世代)*
iPhone 5

* リモコンのツールメニュー、▲、▼、◀、▶、⊕、戻るボタンでiPod nano (第7世代)の操作は行えません。

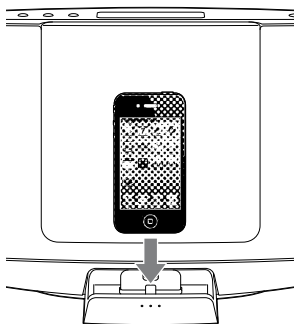
「Made for iPod」「Made for iPhone」とは、それぞれiPod、iPhone 専用接続するよう設計され、アップルが定める性能基準を満たしているとデベロッパによって認定された電子アクセサリであることを示します。アップルは、本製品の機能および安全および規格への適合について一切の責任を負いません。本製品をiPod、又はiPhoneと共に使用すると、ワイヤレス機能に影響を及ぼす可能性があります。



1 iPodファンクションボタン²を押す。

- 本体では、ファンクションボタン²を繰り返し押し表示窓に「iPod」を表示させます。

2 iPod/iPhoneを本体のiPodコネクター¹²に接続する。



3 ▶ボタン³を押して、再生を開始する。

- 本体では、▶||ボタン³を押します。

次のページにつづく ➤ 27

その他の操作

本体またはリモコンのボタンを使って以下の操作ができます。

こんなときは 操作

一時停止する **||** ボタン **[3]** (本体では **▶||** ボタン **[3]**)、**▶** ボタン **[3]** または **■** ボタン **[4]** を押す。

曲を選ぶ、オーディオブックやポッドキャストデータのチャプターを選ぶ **◀◀/▶▶** ボタン **[5]** を押す。

曲中の聞きたい部分を探す、オーディオブックやポッドキャストデータの聞きたい部分を探す 再生中に **◀◀/▶▶** ボタン **[5]** (本体では **◀◀/▶▶** ボタン **[5]**) を押し続け、聞きたいところで指を離す。

iPod/iPhone の表示窓で、メニュー項目や再生する曲を選ぶ **⊕** ボタン **[17]** または **▶** ボタン **[21]** を押す。

iPod/iPhone の表示窓でメニュー画面を上下にスクロールする **▲/▼** ボタン **[21]** を押す。

iPod/iPhone の表示窓で、リスト画面の前の画面に戻る 戻るボタン **[20]**、ツールメニューボタン **[18]** または **◀** ボタン **[21]** を押す。

ご注意

- お使いの iPod/iPhone によっては、本機での操作に対する動作が異なる場合があります。
- iPod/iPhone を抜き挿しするときは、iPod コネクタ **[12]** の角度に沿ってまっすぐ抜き挿ししてください。また、iPod コネクタ **[12]** が破損するおそれがあるため、iPod/iPhone をひねったり、反らせないようにご注意ください。
- iPod/iPhone を接続したままの状態では、本機を移動しないでください。故障の原因となることがあります。
- iPod/iPhone を抜き挿しするときは、本機をしっかりと手で押さえ、iPod/iPhone の操作ボタンを誤って押さないようにご注意ください。
- 音量は、本体またはリモコンの音量 **+/−** ボタン **[7]** を使って調節してください。
- iPod/iPhone の使用については、iPod/iPhone に付属されている取扱説明書もご覧ください。
- 本機での iPod/iPhone の使用により、iPod/iPhone に保存されているデータが万が一消去したり、あるいは変更された場合、弊社は一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

iPod/iPhoneを充電する

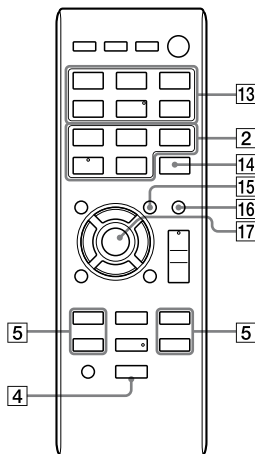
本機は、本機の電源が入の状態のときにiPod/iPhoneをiPodコネクター 12 に接続すると、自動的に充電を開始します。

iPod/iPhone充電中の状況については、iPod/iPhoneの表示窓に表示されるバッテリーアイコンを確認してください。

充電を終了するときは、本機からiPod/iPhoneを取りはずしてください。

その他の操作と設定

ラジオを聞く



ラジオ局を受信する

- 1 FMファンクションボタン[2]、またはAMファンクションボタン[2]を押して、ラジオ局を選ぶ。

- 本体では、ファンクションボタン[2]を繰り返し押して、表示窓に「TUNER FM」または「TUNER AM」を表示させます。

- 2 選局モードボタン[15]を繰り返し押し押しして「AUTO」を表示させる。

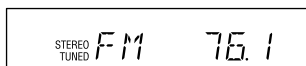
- ボタンを押すたびに「AUTO」→「PRESET」→「MANUAL」の順に選局モードが切り換わります。

- 3 +/-ボタン[5]を押す。

表示窓の周波数表示の数字が動き始めます。

- 本体では、選局+/-ボタン[5]を押します。

ラジオ局を受信すると自動的に止まり、「TUNED」(受信中)と「STEREO」(FMステレオ放送のときのみ)が点灯します(オートチューニング)。



「TUNED」が点灯せずラジオ局を受信できなかったときは、■ボタン[4]を押して、以下の手順に従って手動で選局することもできます。

手動で選局する場合(マニュアルチューニング)

選局モードボタン[15]を繰り返し押し押しして、「MANUAL」を表示させ、+/-ボタン[5]を繰り返し押し押しして、聞きたいラジオ局の周波数に合わせます。

ちょっと一言

FMステレオ放送の雑音を低減するには、FMモードボタン[16]を繰り返し押し押しして「MONO」を表示させ、モノラル受信に切り換えてください。



「MONO」が4秒間表示されます。

ラジオ局を登録する

好みのラジオ局を登録しておくことができます。

- 1 登録したいラジオ局を受信する。
- 2 放送局登録ボタン 14 を押す。



- 3 +/-ボタン 5 または $\blacktriangle/\blacktriangledown/\blacktriangleleft/\blacktriangleright$ ボタン 21 を繰り返し押し、プリセット番号を選ぶ。
 - 本体では、選局 +/- ボタン 5 を押します。
 - プリセット番号1～6に登録したラジオ局は、リモコンのチューナーメモリー番号(1～6)ボタン 13 に自動的に登録されます。
 - すでに登録済みのプリセット番号を選んだ場合は、新たに受信しているラジオ局の登録に置き換わります。
- 4 \oplus ボタン 17 を押して、登録を決定する。

「COMPLETE」が表示されます。

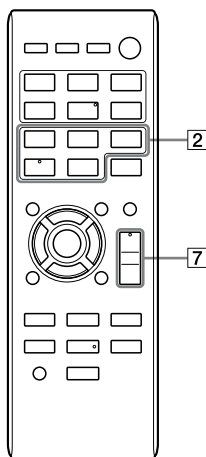
- 5 手順1～4を繰り返して他のラジオ局を登録する。
 - FM放送は20局まで、AM放送は10局まで登録することができます。

登録したラジオ局を聞くには

プリセット番号1～6に登録したラジオ局は、本機がFMまたはAMファンクションに設定されている状態で、リモコンのチューナーメモリー番号(1～6)ボタン 13 を押してください。登録したラジオ局に切り換わります。

プリセット番号7以降に登録したラジオ局は、選局モードボタン 15 を繰り返し押しして「PRESET」を表示させ、+/-ボタン 5 を押して、聞きたいラジオ局のプリセット番号を選びます。

外部機器を接続して聞く



- 1 音量-ボタン 7 を押して、音量レベルを下げる。
- 2 別売りの外部機器を外部入力端子 B (17ページ)に接続する。
 - 別売りのオーディオ接続コードを使って、外部機器のオーディオ出力端子に接続します。
- 3 外部入力ファンクションボタン 2 を押す。

- 本体では、ファンクションボタン [2] を繰り返し押し表示窓に「AUDIO IN」を表示させます。

4 外部機器の再生を始める。

- 再生が始まったら、外部機器側の音量を調節してください。

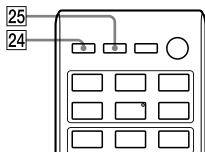
5 音量+/-ボタン [7] を押して、音量を調節する。

ご注意

外部機器の音量が小さすぎると、本機のオートスタンバイ機能によって自動的にスタンバイモードに移行します。詳しくは、「オートスタンバイ機能について」(20ページ)をご覧ください。

音質を調整する

好みの音に合わせてバスブーストやサウンド効果を設定します。



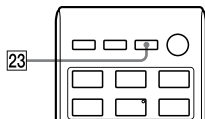
バスブーストを設定する

バスブースト(低音増強)を設定します。BASS BOOSTボタン [24] を繰り返し押し「ON」または「OFF」を設定します。

サウンド効果を設定する

SOUND EFFECTボタン [25] を繰り返し押しお好みのサウンドを選択します。ボタンを押すたびに「ROCK」→「POP」→「JAZZ」→「FLAT」の順に切り換わります。

表示窓の表示を切り換える



こんなときは 操作

表示窓で情報を見る* 電源「入」時に、表示切換ボタン [23] を繰り返し押し。

電源「切」時に時計を表示する 電源「切」時に、表示切換ボタン [23] を繰り返し押し。約8秒間時計が表示されます。

* CDやMP3ディスクの再生中は次のような情報を見ることができます。

CD-DAディスクの場合

- 再生している曲の残時間
- 総残時間

MP3ディスクの場合

- 曲名(「 ♪ 」)
- アーティスト名(「 人 」)
- アルバム名(「 箱 」)

表示に関するご注意

- 本機で表示できない文字があった場合、アンダースコア()に置き換えて表示されます。
- 以下の情報は表示されません。
 - MP3ディスクの総演奏時間および残り時間
 - 曲(MP3ファイル)の残り時間
- 以下の情報は正しく表示されないことがあります。
 - VBR (Variable Bit Rate)の設定でエンコードされたMP3ファイルの再生経過時間

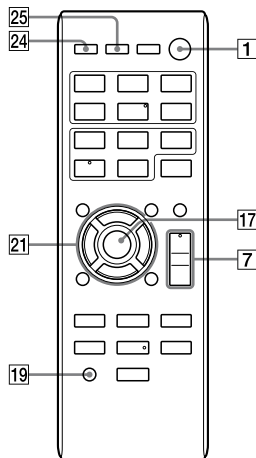
- ISO9660 Level 1/Level 2または Jolietの拡張フォーマットの命名規則に準拠していないフォルダ名、ファイル名
- 以下の情報は表示されます。
 - CD-DAディスクの総演奏時間(PGMモード以外での停止中)
 - 曲(CD-DAトラック)の残り時間
 - CD-DAディスクの残り時間(ノーマル再生モードでの再生中)
 - MP3ファイルのID3タグの情報。ID3のバージョン1とバージョン2のタグが混在して使われている場合は、バージョン2のタグ情報が優先的に表示されます。
 - ID3タグの先頭から最大64文字。表示可能な文字の種類は、大文字(A～Z)、小文字(a～z)(小文字は大文字で表示されます)、数字(0～9)、記号(" \$ % ' () * + , - . / < = > @ [\] _ ` ?)です。

タイマーを使う

本機のタイマー機能には、スリープタイマーと再生タイマーの2種類があります。

再生タイマーが働いているときにスリープタイマーを使うと、スリープタイマーが優先されます。

タイマーの設定は、リモコンのボタンで行います。



スリープタイマーを設定する

指定した時間が経過すると自動的に本機の電源を切ります。本機の時計を合わせていない状態でも使用できます。

スリープタイマーを設定する場合は、シフトボタン¹³を押しながら、スリープボタン²⁴を繰り返し押して設定時間を選択します。ボタンを押すたびに、設定時間が90分～10分まで10分ごとに表示されます。スリープタイマーを中止したい場合は、「OFF」を選択します。

再生タイマーを設定する

指定した時刻に毎日自動的に音源をスタートさせ、CDやMP3ディスクからの音楽やラジオを聞くことができます。

設定の前に、本機の時計を合わせてください。

1 音源を準備する。

- 音源を準備し、音量+/-ボタン⁷を押して音量を調節します。音源として指定できるのは、CD、iPod、FM、AMファンクションです。
- ディスクの好きな曲だけを再生したいときは、プログラム登録をしてください。詳しくは、「好きな順に曲を聞く」(25ページ)をご覧ください。
- ラジオ局を音源にするときは、オートチューニング、マニュアルチューニング、登録済みのプリセットのいずれかの方法で、事前にお好みのラジオ局に周波数を合わせてください(30ページ)。

2 シフトボタン¹⁹を押しながら、時計/タイマー設定ボタン²⁵を押す。

3 再生タイマーを選ぶ。

- **▶/▶**ボタン²¹を繰り返し押して「PLAY SET」を選び、**⊕**ボタン¹⁷を押す。

開始時刻の時間が点滅します。

4 開始時刻を設定する。

- **▶/▶**ボタン²¹を繰り返し押して「時」を設定し、**⊕**ボタン¹⁷を押します。分表示が点滅したら、同様に「分」を設定します。

「分」の設定が終わると、終了時刻の設定に切り換わります。

5 手順4と同様の手順で終了時刻を設定する。

「TIME NG」が点滅表示されたときは

開始時刻と終了時刻が同時刻になっています。終了時刻を設定し直してください。

6 音源を選ぶ。

- **▶/▶**ボタン²¹を繰り返し押して音源を選び、**⊕**ボタン¹⁷を押します。音源として指定できるのは、FM、AM、CD、iPodファンクションです。

音源の設定が終わると、再生タイマーの設定確認が表示されます。

7 **I/O**ボタン¹を押して、電源を切る。

- 音源をFM、AMに指定している場合は、タイマー開始時刻の約15秒前、音源をCD、iPod/iPhoneに指定している場合は、タイマー開始時刻の約30秒前に自動的に電源が入ります。

- 開始時刻に電源が入っていると、再生タイマーは働きません。電源が入り音源の再生が始まるまで、本機の操作はしないでください。

タイマーの設定を確認するには

- 1 シフトボタン¹⁹を押しながら、時計/タイマー設定ボタン²⁵を押す。
- 2 **▲/▼**ボタン²¹を繰り返し押しして、「SELECT」を選び、**+**ボタン¹⁷を押す。
- 3 **▲/▼**ボタン²¹を繰り返し押しして、「PLAY SEL」を選び、**+**ボタン¹⁷を押す。
タイマーの設定が表示されます。

タイマーを中止するには

- 1 シフトボタン¹⁹を押しながら、時計/タイマー設定ボタン²⁵を押す。
- 2 **▲/▼**ボタン²¹を繰り返し押しして、「SELECT」を選び、**+**ボタン¹⁷を押す。
- 3 **▲/▼**ボタン²¹を繰り返し押しして、「OFF」を選び、**+**ボタン¹⁷を押す。

設定を変更するには

再生タイマーの設定をやり直してください(34ページ)。

ご注意

- 再生タイマーの音源に、オートチューニング(AUTO)またはマニュアルチューニング(MANUAL)を利用してラジオ放送局を指定した場合、再生タイマーを設定した後にラジオ局の周波数やバンド(FM/AM)を変更すると、再生タイマー起動時の周波数やバンドも変更されます。

- 再生タイマーの音源に、プリセット番号に登録済みの放送局から選択してラジオ放送局を指定した場合、再生タイマーを設定した後にラジオ局の周波数やバンド(FM/AM)を変更しても、再生タイマーには反映されません。再生タイマー設定時の放送局に固定されます。

iPod/iPhoneについてのご注意

- 再生タイマーを使用するときは、iPod/iPhoneが再生されていないことを確認してください。
- お使いのiPod/iPhoneの状態によっては、本機で再生タイマーを設定しても動作しない場合があります。

ちょっと一言

再生タイマーは、手動で中止しないかぎり、タイマーの設定を保持します。

使用上のご注意・ 主な仕様

使用上のご注意

再生できるディスク

- 音楽用CD
- CD-R/CD-RW (CD-DAトラック
またはMP3ファイルの音楽データ)

データのないCD-R/CD-RWディスクを使用しないでください。ディスクにダメージを与えるおそれがあります。

再生できないディスク

- CD-ROM
- 音楽CDの規格に準拠していない形式で記録されたCD-RおよびCD-RWディスク、ISO9660 Level 1/Level 2またはJolietのフォーマットに準拠しないCD-RおよびCD-RWディスク
- マルチセッション方式で記録して、セッションクローズ処理をしていないCD-RおよびCD-RWディスク
- 記録品質の悪いCD-RおよびCD-RWディスク、傷、汚れのあるCD-RおよびCD-RWディスク、互換性のないレコーダーで記録したCD-RおよびCD-RWディスク
- 書き込み用ソフトウェアやレコーダーによる「ファイナライズ処理」が正常に終了していないCD-RおよびCD-RWディスク
- MP3形式(MPEG 1 Audio

Layer-3)以外のフォーマットのオーディオファイルが記録されたCD-RおよびCD-RWディスク

- 円形以外の特殊な形状(カード型、ハート型、星型など)をしたディスク
- 紙やシールの貼られたディスク
- 中古ディスクやレンタルディスクで、セロハンテープやレンタルディスクのラベルなどの接着剤がはみ出したり、はがしたあとのあるディスク
- 盤面印刷で作成したラベルのインクが乾いていないディスク

CDの取り扱いかた

- ふだんのお手入れは、柔らかい布でディスクの中心から外の方へ軽く拭きます。汚れがひどいときは、少し湿らせた布で拭いたあと、乾いた布で水気を拭き取ってください。ベンジンやレコードクリーナー、静電気防止剤などは使わないでください。
- 直射日光が当たる場所、車やトランクの中など、高温になるところには置かないでください。
- 市販のCDレンズ用クリーニングディスクは、本機では使わないでください。故障するおそれがあります。

設置時のご注意

- ぐらついた台の上や不安定な場所、振動する場所、ほこりの多い所、直射日光が当たる場所、湿度が高い所、湿気の多い所、風通しの悪い場所、極端に寒い所などには、本機を設置しないでください。
- 特殊な塗装、ワックス、油脂、溶剤などが塗られている場所に、本機を設置すると、変色、染みなどが残るこ

とがあります。

- 部屋の暖房を入れた直後など、内部のレンズに水滴がつくことがあります(結露)。正常に動作しないばかりでなく、ディスクや部品を傷めることがあるので、本機を使わないときは、ディスクを取り出してください。結露が生じたときは、ディスクを取り出して、電源を入れたまま約1時間放置し、再び電源を入れ直してください。もし何時間たっても正常に動作しないときは、ソニーの相談窓口にご相談ください。

ACアダプターについてのご注意

- ACアダプターは、お手近なコンセントを使用してください。使用中、不具合が生じたときは、すぐにコンセントからプラグを抜き、電源を遮断してください。
- ACアダプターを壁との隙間などの狭い場所に設置して使用しないでください。

使用時の放熱について

- 使用中、本体の温度が上昇することがありますが、故障ではありません。
- 大音量で鳴らし続けると、本体キャビネットの天板や側面、底面が熱くなることがあります。このようなときは、火傷などのけがの原因となるため、キャビネットなどに触れないでください。

テレビの色むらについて

本機のスピーカーは防磁型ではありません。そのため、本機をテレビのそばで使うと、テレビ画面に色むらが起こります。テレビから離してお使いください。色むらが起きたら、いったんテレビの電源を切り、15～30分

後に再び電源を入れてください。それでも色むらが残る場合は、本機をさらにテレビから離してください。

お手入れのしかた

キャビネットやパネル面の汚れは、中性洗剤溶液を少し含ませた柔らかい布などで拭いてください。シンナー、ベンジン、アルコールなどは表面を傷めるので、使わないでください。

重要

機器の名称や電気定格などは、底面に表示されています。

故障かな？と思ったら

本機を使用中にトラブルが発生した場合は、ソニーの相談窓口にご相談になる前に、もう一度下記の流れに従ってチェックしてください。メッセージ一覧(41ページ)も合わせてご覧ください。メッセージなどが表示されている場合は、書きとめておくことをおすすめします。

手順1 本書で調べる

この「故障かな？と思ったら」をチェックし、該当する項目を調べる。
本書の手順の中にも、様々な情報があります。該当する項目を調べてください。

手順2 「サポート・お問い合わせ」のホームページで調べる

<http://www.sony.jp/support/netjuke/>で調べる。
最新のサポート情報や、よくあるお問い合わせとその回答を掲載しています。

手順3 それでもトラブルが解決しないときは

ソニーの相談窓口(裏表紙)またはお買い上げ店にご相談ください。

ご相談になるときは次のことをお知らせください。

- 型名：CMT-V10iPN
- 故障の状態：できるだけ詳しく
- 故障したときに再生していた音源(ディスクやiPod/iPhoneなど)：
- 購入年月日：
- お買い上げ店：

共通

電源が入らない。

- ACアダプターがコンセントにしっかり差し込まれていますか？
- ACアダプターのDCプラグが本体にしっかりと差し込まれていますか？
- 付属品と異なるACアダプターを本体に接続していませんか？

気がつく则表示が消え、スタンバイモードになっている。

- 本機のオートスタンバイ機能によって、無操作または無音の状態が30分経過すると自動的にスタンバイモードに移行します。詳しくは、「オートスタンバイ機能について」をご覧ください(20ページ)。

時計設定や再生タイマーの操作が突然キャンセルされる。

- 無操作の時間が約1分経過すると、時計設定と再生タイマーの操作は自動的にキャンセルされます。始めから操作をやり直してください。

音が出ない。

- 音量+ボタン[7]を押して音量を上げてください。
- ヘッドフォン端子にヘッドフォンを接続していませんか？
- 外部入力端子に外部機器を正しく接続していますか？
- 本機のファンクションを、外部入力(AUDIO IN)に切り換えていますか？
- 一時的にラジオ局が放送を中止している場合があります。

ブーンという音がる、ノイズがひどい。

- テレビやビデオなどのノイズの原因になりやすい機器から本機を離して設置してください。
- ACアダプターを別のコンセントに接続してみてください。
- 別売りのノイズフィルターをACアダプターへ装着することをおすすめします。ノイズが低減できる場合があります。

リモコンで操作できない。

- リモコンと本体の間の障害物を取り除き、本体を蛍光灯から離して設置してください。
- リモコンを本体のリモコン受光部に向けてください。
- リモコンを本体に近づけて操作してください。

CD/MP3ディスク

ディスクやファイルを再生できない。

- 「ファイナライズ処理」が行われていないディスク(書き込み済みのCD-RやCD-RWで、さらに書き込みが可能な状態のディスク)

音飛びする、再生が始まらない。

- ディスクが汚れている、またはディスクに傷がついている。汚れの場合は、拭き取ってください。
- 振動のない場所(安定した台の上など)に本機を設置してください。

再生が1曲目から始まらない。

- シャッフル再生、またはプログラム再生になっていないか確認してください。停止中に再生モードボタン[15]を繰り返し押すと、表示窓の

「PGM」または「SHUF」が消え、ノーマル再生に戻すことができます。

再生が始まるまでに時間がかかる。

- 次のような場合、ディスクの再生が始まるまでにしばらく時間がかかることがあります。
 - －ディスク上のファイル構造が極端に複雑になっている。
 - －マルチセッション形式で記録したディスク
 - －フォルダ数が多いディスク

iPod/iPhone

iPod/iPhoneを再生できない。

- iPod/iPhoneがiPodコネクタ 12 に正しく接続されているかどうか確認してください。
- iPod/iPhoneを再生している場合は、再生を停止してから本機に接続してください。
- iPod/iPhoneが最新のソフトウェアに更新されているかどうか確認してください。
- 音量+ボタン 7 を押して音量を上げてください。

音が歪む。

- iPod/iPhoneがiPodコネクタ 12 に正しく接続されているかどうか確認してください。
- 音量-ボタン 7 を押して音量を下げてください。
- iPod/iPhoneのイコライザ設定を「Off (オフ)」または「Flat (フラット)」にしてください。

iPod/iPhoneが動作しない

- iPod/iPhoneで起動中のすべての

iOSアプリケーションを終了してください。詳しくは、お使いのiPod/iPhoneに付属されている取扱説明書をご覧ください。

- iPod/iPhoneがiPodコネクタ 12 に正しく接続されているかどうか確認してください。
- iPod/iPhoneが最新のソフトウェアに更新されているかどうか確認してください。
- 本機のリモコンや本体の操作ボタンを使ってiPod/iPhoneを操作できない場合があります。その場合は、iPod/iPhoneの操作ボタンを使って操作してください。

iPod/iPhoneが充電されない。

- iPod/iPhoneがiPodコネクタ 12 に正しく接続されているかどうか確認してください。
- iPod/iPhoneを充電するときは、本機の電源を入れてください。
- 満充電にならない場合は、オートスタンバイ機能を切ってから充電してください(20ページ)。

ラジオ

雑音が入る(「TUNED」や「STEREO」が点滅する)、または放送が受信できない。

- アンテナを正しく接続してください。
- 受信状態のよい場所や方向を探し、アンテナを設置し直してください。
- アンテナを本体や他のAV機器から離してください。
- 本機の近くにある電気器具の電源を切ってください。

複数の放送局が同時に聞こえる場合。

- アンテナの場所や方向を調整してアンテナを設置し直してください。
- アンテナを(コードクリップなどを使って)束ね、長さを調整してください。

お買い上げ時の状態にリセットするには

「故障かな?と思ったら」の該当項目をチェックしても正常に動作しない場合は、次の手順で本機をお買い上げ時の状態にリセットしてください。本体のボタンを使ってリセットを行います。

1 ACアダプターをコンセントから抜き、再度接続して、電源を入れる。

2 ▶IIボタン^③と本体のI/⏻ボタン^①を「RESET」が表示されるまで押し続ける。

ラジオ局のプリセット設定や時計、タイマーなどの設定が、お買い上げ時の状態に戻ります。リセットを行ってもまだ正常に動作しない場合は、ソニーの相談窓口にご相談ください。

メッセージ一覧

本機の使用中に、次のようなメッセージが表示、または点滅することがあります。

COMPLETE

FM/AM局のプリセット登録が正常に完了した。

CONNECT

接続したiPod/iPhoneを認識中です。

DEVICE ERROR

- iPod/iPhoneを本機から抜いて、再び接続し直してください。
- 本機で認識できないデバイスを接続した。

FULL

プログラム登録中に26曲目を登録しようとした。

NO DISC

ディスクが入っていない、または本機では再生できないディスクをセットした。

NO STEP

プログラムが登録されていない。

NO TRACK

ディスクに本機で再生できるファイルが入っていない。

NOT USED

使用できないボタンを押した。

OVER CURRENT

接続したiPod/iPhoneから電源の異常を検出した。

iPod/iPhoneを取りはずしたあと本機の電源を切り、再び電源を入れ直してください。それでも問題が解決しない場合は、お買い上げ店またはソニーの相談窓口(裏表紙)にご相談ください。

PROTECT

電源の異常を検出した。

ACアダプターをコンセントから抜いてください。それでも問題が解決しない場合は、お買い上げ店またはソニーの相談窓口(裏表紙)にご相談ください。

PUSH STOP

CD再生中に再生モードボタン[15]を押した。

READING

ディスクの情報を読み込んでいる。

TIME NG

再生タイマーの設定で、開始時刻と終了時刻を同じに設定した。

保証書とアフターサービス

本機は日本国内専用です。電源電圧や放送規格の異なる海外ではお使いになれません。

保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際、お買い上げ店で受け取ってください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

この説明書をもう1度ご覧になってお調べください。

それでも具合の悪いときはサービスへ

ソニーの相談窓口やお買い上げ店、または添付の「ソニーご相談窓口のご案内」にあるお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間について

当社ではパーソナルオーディオシステムの補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を、製造打ち切り後8年間保有しています。

ただし、故障の状況その他の事情により、修理に代えて製品交換をする場合がありますのでご了承ください。

部品の交換について

この製品は、修理の際に交換した部品を再生、再利用する場合があります。その際、交換した部品は回収させていただきます。

主な仕様

アンプ部

実用最大出力

5 W + 5 W (8Ω、JEITA*)

入・出力端子

外部入力端子

ステレオミニジャック900 mV
(47 kΩ)

Ω (ヘッドホン)端子

ステレオミニジャック8Ω以上

iPod/iPhone接続端子

iPod/iPhone接続用、DC 5V、
1000 mA

CDプレーヤー部

形式

コンパクトディスクデジタルオーディオシステム

周波数特性

20 Hz ~ 20 kHz

S/N比

80 dB以上

ダイナミックレンジ

80 dB以上

チューナー部

アンテナ端子

FMアンテナ

AMループアンテナ

受信周波数

FM : 76.0 MHz ~ 90.0 MHz
(100 kHzステップ)

AM : 531 kHz ~ 1,602 kHz
(9 kHzステップ)

スピーカー部

形式

フルレンジスピーカー：80 mm
コーン型

定格インピーダンス

8 Ω

その他

電源(ACアダプター)

入力：AC 100 V - 240 V、
50 Hz/60 Hz
出力：DC 9.5 V 1.8 A

ACアダプターは「JIS C 61000-3-2適合品」です。

消費電力

13 W (通常動作時(JEITA*))

最大外形寸法(幅×高さ×奥行き、最大突起部含む)

約 400 mm×197 mm×
114 mm

質量

約 2.4 kg

* JEITA (電子情報技術産業協会)規格による測定値です。

付属品

リモコン(1) / リモコン用単3形(R6)
乾電池(2) / ACアダプター (1) /
AMアンテナ(1) / 取扱説明書(本書)(1)
/ ソニーご相談窓口のご案内(1) /
保証書(1) / ユーザー登録カード(1)

仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

待機時消費電力：0.5W

よくあるお問い合わせ、窓口受付時間などは
ホームページをご活用ください。

<http://www.sony.jp/support/>

使い方相談窓口

フリーダイヤル……………0120-333-020

携帯電話・PHS・一部のIP電話… 0466-31-2511

修理相談窓口

フリーダイヤル……………0120-222-330

携帯電話・PHS・一部のIP電話… 0466-31-2531

※取扱説明書・リモコン等の購入相談はこちらへお問い合わせください。

FAX (共通) 0120-333-389

左記番号へ接続後、
最初のガイダンスが
流れている間に

「306」+「#」

を押してください。
直接、担当窓口へ
おつなぎします。

ソニー株式会社 〒108-0075 東京都港区港南1-7-1

COMPACT
disc
DIGITAL AUDIO

Made for



iPod



iPhone



* 4 4 6 2 3 8 2 0 1 * (1)